



信楽焼の特徴を教えてください授業が開始されました

## テーマ

Theme

やきもの体験 つちっこプログラム  
“信楽焼に絵をはろう”

## 学校・園名

School name

甲賀市立柏木小学校

## 講師等

Lecturer etc.

滋賀県立陶芸の森／世界にひとつの宝物づくり実行委員会

## 実施日

Date

平成31年11月9日

## 教科等

Subject etc.

親子活動

## 授業

Class



甲賀市立柏木小学校1～6年生29人と保護者25人を対象に「信楽焼に絵をはろう」というテーマで、公益財団法人滋賀県陶芸の森／世界にひとつの宝物づくり実行委員会により、親子活動の一環として連携授業が開催されました。

最初に、陶芸家の講師の方から、信楽焼の特徴である灰かぶり、石はぜ、ビードロ釉などについて壺の写真を見ながら説明をしていただき、信楽を舞台にした連続テレビ小説「スカーレット」のロケの逸話などに触れていただき授業が始まりました。

用意された白い信楽焼のマグカップか角皿を選び、まずは自分が描きたい絵やデザインの下書きをしました。それに合わせて釉薬で色付けされた10色の特殊低温転写紙をカットし水につけて貼り付け、乾燥させるまでの作業に取り組みました。動物、草花、風景や恐竜などの絵柄や幾何学模様の図柄、そして自分の名前をデザインしたり、授業に出てきたスイミーを題材にするなど個性溢れる色彩豊かなマイカップや皿が出来あがってきました。厚みのある転写紙をハサミの他にもカッターナイフも使ってカットしましたが、手指を怪我することもなく集中して作業に取り組むことができました。

学校での授業はそこまでの作業で終了し、作品は自宅でオーブンレンジやオーブントースターで焼き付けを施し完成します。

## 感想

Impression

## 児童より Impression from Children

- デザインを一からいろいろ考えるのが楽しかったのと自分のデザインがだんだんお皿のうえにできてるのを見ながら作ることがとてもよかった。
- シールをしっかりとばして貼るのがなかなか思いどおりにいなくて難しかったです。何回かやり直しましたが、シールを貼る活動は初めてだったので楽しかった。

## 学校より Impression from school

- 1～6年生を対象にしている学年の幅がありましたが、子どもたちの力量に応じた作品づくりに取り組める内容でしたのでうまく進めることができました。
- 2教室に分かれて取り組みましたが教室ごとに講師についていただき、転写紙どうしが重ならないような図案がよいか、曲面には小さめにカットしたほうがしわにならずに貼り付けやすいなどのアドバイスを丁寧にしていただきました。
- 2時間の授業でしたが、保護者の方も子どもたちと一緒にデザインを考えるなど熱心に取り組んでいただきました。また、授業が終了した際には、子どもたちと共同して後片付けなどにも協力いただき親子活動に相応しい活動を行うことができました。

## 講師より Impression from lecturer

- 久しぶりの母校を今回講師として訪問しましたが、懐かしく思い出され、年の離れた後輩が親子でカップやお皿づくりに取り組む姿が微笑ましく感じられました。
- 様々な模様を器に貼り付けて仕上げられました。例えば、スイミーや市松模様など個性あふれる楽しい食器を作っただけだと思います。
- 今回皆さんが作った作品は、世界にひとつの宝物です。是非大切にしていきたいと思います。